



社屋外観



オフィス



代表取締役社長 馬淵 健さん

第16回 トップインタビュー

株式会社 山辰組

〒501-0511 岐阜県揖斐郡大野町稲畑203-1 <https://yamatatu.com/>
創業/昭和2(1927)年 資本金/3,000万円 代表取締役社長/馬淵 健 従業員数/52名(令和5年12月現在)
事業内容/総合建設業 環境製品及び新技術開発・製造販売 指定管理者

時代のニーズに先駆けて、より良い環境を創るのが建設業の仕事です。

【若山】 創業97年。建設業の傍ら、環境事業にもいち早く取り組んでこられたそうですね。

【馬淵社長】 創業は昭和2(1927)年、曾祖父が始めた砂利運搬業です。戦後に建設業許可を得て道路や河川、橋梁、砂防、庁舎、学校、公園などの地域のインフラ整備に携わってきました。環境保全を目的とする環境事業部を立ち上げたのは平成3(1991)年です。建設業は人々の暮らしをより安全に、便利に、快適にするための環境を整える仕事ですが、残念なことに当時は環境破壊業と揶揄されていました。なぜなら河川をコンクリートでガチガチに固めるような公共工事が一般的だったからです。そんなことをすれば生態系は崩れてしまうのですが、その頃は水害に強い堤防を造ることが第一と考えられていました。そこで、先代(現会長)は「建設業ならではの視点で地球環境のために役立つことを始めよう」と考え、環境製品の設計、開発、製造、販売等を始めました。

【若山】 京都議定書の採択が平成9年ですから、平成3年の事業化は珍しかったのではないですか。

【馬淵社長】 まだ誰もそんなことを考えもしないご時世だったと聞いています。手探りの中、着手したのは河川の流速緩和ブロックです。自然石をさざれ石のようにコンクリートで固め、川に沈めて流れを調整するブロックです。魚は緩やかな水流を好みますし、設置したブロックの表面に藻が生えて生息環境が整います。これを応用したのが「棚田式魚道ブロック^{*1}」です。床固めに設置して、鮎などが遡上しやすい通路を造るコンクリート二次製品です。床固めとは、川底の土砂が洪水時等の濁流などで削られないように設置する落差工

です。段差が大きいと魚の遡上を妨げ、小さいと河床の土砂が洪水時に流出してしまいます。そこで、床固めの形状に合わせて広がる棚田のように扇形に魚道ブロックを配置する方法を考案しました。設置した河川では下流から沢山の鮎が遡上すると好評でしたが、先代はさらなる改良と普及を目指し岐阜大学の門を叩きました。社業の傍ら大学院で生物環境科学の研究を重ね、論文にまとめて博士号を取得!低コストで施工しやすく、魚が遡上しやすい「魚道ブロック」は、根尾川をはじめ全国の河川でご利用いただいています。

【若山】 「創意、工夫、たゆまぬ努力」という社是を実践された形ですね。近年は世の中の環境への意識が大きく変わりました。

【馬淵社長】 有難いことに、カーボンニュートラルの動きが追い風となっています。「ハイブリッド・サイフォン^{*1}」は河川砂防の工事やダムの取水・ため池の水抜きなどに役立つ送水装置です。サイフォンの原理^{*2}を使っているため、ほぼ動力はいりません(起動時1分程度のみ必要)。工期が長いほどトータルコストと環境負荷を大きく削減できます。重機が入れない場所にも設置でき、条件があれば災害時でも活用できます。サイフォンの原理は古代エジプトの時代から使われていた誰もがよく知る方法ですが、送水装置として実用化された例はなく、製品発表時には多くの方にコロンブスの卵!と驚かれました。環境事業部が設立されて30年超。現在は、トップ主導の事業から社員主体の事業へと大きく移行しています。高速焼却架台「モヤッシー^{*1}」はその一例で、現場の声を集約させたオリジナル製品です。

【若山】 「モヤッシー」が働き方を変えたと同じました。

^{*1} 特許を取得
^{*2} 2か所をつなぐ管の中の空気を抜くと、高い所から低い所へと水が流れるしくみ。



魚が住みやすい環境をつくる「棚田式魚道ブロック」



脱炭素の送水装置「ハイブリッド・サイフォン」



900℃以上で高速燃焼する「モヤッシー」



災害拠点病院の道路拡幅工事[土木]



小中学校のトイレ改修工事[建築]

【馬淵社長】 建設業は天候の影響を受けやすい仕事です。中でも堤防の点検に伴う刈草の処理(草刈り、乾燥、焼却^{*3})はほぼ天気任せです。生産性の低さ、煙の苦情、現場の負担など課題も多く、何かよい策はないかとアイデアを募り、開発・改良を重ねてきたのが「モヤッシー」です。現在は、架台に空気を圧送する技術を取り入れて煙を半減、温度は900℃以上、速度約2.3倍(当社比)の高効率な焼却装置を実現しました。この開発により近隣住宅からの苦情も減り、現場担当者の休日出勤もほとんど見られなくなりました。もう一つの成果は、アイデアが環境を変える醍醐味を社員が実感したことです。当社では普段から「どんなに些細なことでもいいから気づいたことは発表しよう」と伝えていますし、実際に会議で検討もしています。すべての提案が事業化につながるわけではありませんが、一つのアイデアが次の新しい発見の糸口になる、その繰り返しが未来を切り拓く力になると考えています。

【若山】 業界で高齢化が進む中、貴社は10・20代の社員が多いそうですね。今後の事業展開はどのようにお考えですか。

【馬淵社長】 安全に関わる仕事なので以前は経験者しか採用しなかったのですが、現在は次世代の育成を踏まえた新卒採用にも注力しています。おかげさまで若い職員が増えた事により、未経験

^{*3} 堤防工事に伴う野焼きは法律で認められています。
^{*4} SDGs達成に取り組む事業者を県が登録する制度

の新人に対して、先輩社員が作業のコツから必要性まで様々なことを言語化、視覚化するようになりました。その結果、社員一人一人が自由に発言する職場になっています。事業展開については、建設業と環境事業の2本柱を目指しています。建設は近年、道路も建物も長寿命化がすすめられており、より安全・快適に利用するための改修工事が増えています。公共事業は決められた工事を的確に行う使命がありますが、財源は税金ですから、少しでもムダを減らして品質を高める努力が必要です。当社ではi-Constructionをはじめ、他社に先駆けてIT技術を積極的に採り入れてきました。今後は若い世代の重用を含め、これまで以上に新しい技術やアイデアを活用していきたいと考えています。おかげさまで昨秋に、ぎふSDGs推進ゴールドパートナー^{*4}に認定されました。これを新たな一歩ととらえ、今後も持続可能なまちづくりに取り組む一員として、地域のために力を尽くしたいと考えています。

【若山】 先代から受け継ぐ「ひと味ちがう企業づくり」。次の開発商品も楽しみにしています。本日はありがとうございました。

語り手/株式会社 山辰組 馬淵 健さん
聞き手/大垣西濃信用金庫 事業成長推進部 部長 若山 謙一

西濃地域の
おすすめ
ショップ紹介

タイヤショップコンドウ&伊藤モータース

豊富な知識と経験で
愛車のすべてを
ワンストップサポート!

車やタイヤのご提案から販売、買い取り、車検整備、板金塗装、コーティングまで、カーライフのサポート機能を一つにまとめたお店です。品質、コスト、安全性など何でも気軽に相談ください。専門知識と経験と技術をもつスタッフが、お客様ひとりひとりのご要望に心を込めてお応えします。「見つかる! そろろ! 解決する!」が合言葉のお店です。

ゆったりと気軽に立ち寄りください

安心の価格と品質

2023年11月10日OPEN

圧倒的な品揃え

岐阜県養老郡養老町船附1192-1
営業時間/9:00~18:30
定休日/第2土曜・第2日曜日
※GW・夏季・冬季休暇を除く